

研究
主題

「ふるさとで心豊かに学び、 新しい世界と未来を切り拓く子供の育成」

東京都教育委員会では、東京都へき地教育研究協議会との共催により、へき地・小規模校における教育課題の解決に向けた教育実践の成果を発表し、広く教育関係者の理解と関心を深めるとともに、へき地・小規模校の課題を踏まえ、教職員が一体となって組織的に取り組む教育の在り方を明らかにします。

日時 平成 30 年 **8月3日（金）** 午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター（カルチャー棟小ホール）

研究発表会

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 研究発表及び協議会
- 5 全体研究協議
- 6 講演
- 7 閉会

奥多摩町立氷川小学校

「自分の考えを主体的に伝え合い、
互いの価値を認めることができる
児童の育成
～一人一人が輝く授業づくりを目指して～」

御蔵島村立御蔵島中学校

「自ら考え、進んで表現する
児童・生徒の育成
～協同的な学習の中で育む一人一人の力～」

演題「へき地・小規模校の抱える課題とその解決に向けた取組について」

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官

上野 耕史 氏

参加申込

都内公立学校関係者：別途通知による
一般の方：以下の問合せ先まで、電話、ファクシミリ及び電子メールで、
「所属」・「氏名」・「連絡先」をお伝えください。（7/23 まで）
問合せ先：東京都教育庁指導部指導企画課
電話 03-5320-6869 ファクシミリ 03-5388-1733
メールアドレス S9000020@section.metro.tokyo.jp

発表の概要

東京都の島しょ地区及び多摩地区の西部山間地域における学校では、地域の特性を生かした特色ある教育活動や小規模校の利点を生かした授業研究が行われています。

奥多摩町立氷川小学校

「自分の考えを主体的に伝え合い、互いの価値を認めることができる児童の育成
～一人一人が輝く授業づくりを目指して～」

東京都の最北西端に位置する奥多摩町は、全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれ、東京の奥庭として親しまれている自然豊かな町です。町の中央部にある氷川小学校には、広い学区から61名の児童が通っており、公共交通機関を利用して通学している児童も多くいます。

小規模校ならではの児童一人一人を生かした指導を行い、町の伝統芸能の教材化やタブレット端末を活用した学習活動など、特色ある教育活動を実践しています。また、「特別の教科 道徳」の授業づくりを通して、自分の考えを主体的に伝え合い、互いの価値を高める児童の育成を目指した授業研究を行ってきました。



(自分の考えを伝え合う児童)

御蔵島村立御蔵島中学校

「自ら考え、進んで表現する児童・生徒の育成
～協同的な学習の中で育む一人一人の力～」

本校は、今年度の生徒数が3名で、併設する小学校の児童数と合わせて25名の小規模校です。生徒は卒業すると、高等学校進学などのために必ず島を離れることになり、「15歳の旅立ち」を迎えます。それまでに、自分から働き掛けて人間関係を広げようとするコミュニケーション能力や、考えをはっきりと相手に伝える自己表現力など、必要な力を身に付けさせることが学校教育に求められています。

そこで、研究主題に迫るため、「思考力・判断力・表現力を高めるための話し合い活動の充実」と、「児童・生徒の変容を把握するための評価の工夫」の二つの視点から研究を進めてきました。



(検証授業時の話し合い活動の様子)

会場案内



< 最寄り駅 >

- 小田急線「参宮橋駅」下車 徒歩約7分
- 東京メトロ千代田線「代々木公園駅」下車
(代々木公園方面出口) 徒歩約10分
- 京王バス
○新宿駅西口(16番)より
代々木5丁目下車すぐ
○渋谷駅西口(40番)より
代々木5丁目下車すぐ

主催 東京都教育委員会
東京都へき地教育研究協議会